
第 6 回臨床研修医・医学生のための救急セミナー

日時：平成 29 年 7 月 15 日（土曜日）13 時～18 時 30 分

場所：TKP お茶の水カンファレンスセンター ホール 2E

対象：救急医学に興味のある臨床研修医および医学生

[企画] 学生・研修医部会設置運用特別委員会 セミナー担当委員

[総合司会] 同委員 松越 拓（東京ベイ・浦安市川医療センター 救急・集中治療科）

13:00～13:10 開会挨拶

日本救急医学会 代表理事 横田裕行

（日本医科大学付属病院 高度救命救急センター）

13:10～15:30 救急医 ドクターE！！

[司会]：上杉 泰隆（東京医科大学八王子医療センター救命救急センター）

13:10～13:50 外傷

症例提示 小野寺 良太（手稲溪仁会病院 救急科）

14:00～14:40 集中治療

症例提示 小林 靖孟（広島大学病院 救急科）

14:50～15:30 ER

症例提示 立花 早人（沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 救急科）

<休憩 30 分>

16:00～18:20 ワークショップ：「救急医のキャリアパス」

[司会]松越 拓（東京ベイ・浦安市川医療センター 救急・集中治療科）

【発表者】 <順不同>

① 矢島つかさ（福井大学医学部附属病院 救急部）

Be happy! な生き方を貫き、楽しく仕事をする♪そんな人生いいじゃない！ ER で働くということ、大学病院で教育活動をするということ、それは私に合った Happy Life! みなさんの道選びのヒントになればいいな、と思います。

② 村田希吉（松戸市立病院 救命救急センター）

外傷救急医はメスを持って働く外科系救急医です。この仕事で最も難しいのは、メスでは止められない出血に立ち向かうことです。いかに血を止めるのか？そのお仕事を紹介します。

③ 木下喬弘（大阪急性期・総合医療センター 高度救命救急センター）

自分の良さを人に知ってもらうにはどうすればいいのでしょうか？世界で初めて外傷初療に IVR-CT を持ち込んだ経験を、米国外傷センターでの短期留学や英語論文の作成を通して、未知の世界にアピールしてきた体験談をお話します！

④ 高橋麻里絵（東京医科歯科大学医学部附属病院 救命救急センター）

近年デバイスや機器の改良により増々需要を高めている IVR は、救急・外傷の世界でも活躍の幅を広げています。サブスペシャリティーとして IVR や画像診断を選択する若手救急医も増加傾向ですが、まだまだ少ないのが現状です。研修先の探し方や苦労話に、子育て話もちょっと加えて、救急医を志す皆さんの背中を押せるようなお話ができればと思っています。

18:20～18:30 閉会挨拶

学生・研修医部会設置運用特別委員会 担当理事 黒田泰弘

（香川大学医学部附属病院 救命救急センター）

18:30～19:30 懇親会（TKP お茶の水カンファレンスセンター ホール 2B）